

国際交流ニュースレター

2011.4~2012.3

Sapporo Medical University

International Medical Exchange Newsletter
by Department of International Affairs and Medical Exchanges

語学研修

本学の交流協定大学であるアルバータ大学(カナダ)語学研修に、医学部7名、保健医療学部1名 合計8名の学生が参加しました。

研修期間中、同大の語学研修プログラムやホームステイを通し、語学力を向上させるとともに、実際に救急医療やリハビリテーション施設などの病院見学を行い、カナダの医療システムについても学びました。

・派遣期間: 7月31日(日)~8月22日(日)、研修期間: 8月2日~8月20日



学生交流（臨床実習）

札幌医科大学は2009年から中国医科大学（瀋陽市）、2011年から韓国カトリック大学（ソウル市）と協定を締結し、学生交流（臨床実習）を行っています。

この交流事業は、アジアで医学を学ぶ学生が共に臨床実習を行うことで、国際的な視野を身につけ専門的な知識を習得することを目指します。

（1）中国医科大学への学生派遣

医学部第5学年 佐藤逸美さんと鈴木洋平さんを派遣しました。

中国の医療制度に興味を持ち、現地の医療を自分の目で確かめたいという二人は、中国医科大学日本語コースで、次により臨床実習を行いました。

- ・10月17日（月）～10月21日（金）：心臓外科（佐藤さん・鈴木さん）
- ・10月24日（月）～10月26日（水）：胸部外科（佐藤さん）、腎臓内科（鈴木さん）
- ・10月27日（木）～10月28日（金）：泌尿外科（佐藤さん）、内分泌科（鈴木さん）



（2）中国医科大学からの学生受入

中国医科大学医学部5年生 陳静乙さんと郭晓玉さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次により臨床実習を行いました。

- ・2月 6日（月）～2月10日（金）：医学部救急・集中治療医学講座（陳さん・郭さん）
- ・2月13日（月）～2月17日（金）：医学部外科学第二講座（陳さん・郭さん）



(3) 韓国カトリック大学への学生派遣

医学部第5学年 朴貞恩さんと加藤大智さんを派遣しました。

韓国の医療現場の実情に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、韓国カトリック大学医学部で、次により臨床実習を行いました。

- ・10月31日(月)～11月11日(金):放射線科(朴さん)、循環器内科(加藤さん)
- ・11月14日(月)～11月25日(金):産婦人科(朴さん・加藤さん)



(4) 韓国カトリック大学からの学生受入

韓国カトリック大学医学部6年生、Kim Hae Won(キム ヘウオン)さんとShin Kab Soo(シン カブス)さんが来学しました。日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次により臨床実習を行いました。

- ・3月 5日(月)～3月16日(金):医学部内科学第二講座(Kimさん・Shinさん)
- ・3月19日(月)～3月30日(金):医学部外科学第三講座(Kimさん・Shinさん)



大学院生・研究生の短期留学

国際水準の研究者を育成することにより、本学の研究及び教育水準の向上を目的として、本学の大学院生及び研究生を対象に、海外の大学で行う短期留学(研修)に対する助成事業を平成20年度から実施しています。

今年度は、小児科学講座 研究生 須見よし乃医師が、フィンランドのトゥルク大学を中心にタンペレ大学などで、自身の専門である児童精神医学分野に関する研修を行いました。

・2月6日(月)～3月31日(土):トゥルク大学ほか



教員・研究者の医学交流

本学と交流協定を締結している海外の大学間で、研究者の相互交流を行っています。

今年度は6大学へ5名を派遣、2大学から2名の交流研究者が来学しました。

本学は、フィンランド・パウロ財団、アルバータ大学、カルガリー大学、中国医科大学、マサチューセッツ州立大学、佳木斯大学と研究者の交流協定を締結しています。

(1)派遣

①カルガリー大学救急医療講座

・交流研究者: 医学部救急・集中治療医学講座 長谷 守 講師

・交流期間: 8月15日(月)～8月27日(土)

②アルバータ大学リハビリテーション医学部

・交流研究者: 保健医療学部作業療法学科 中島そのみ 講師

・交流期間: 8月28日(日)～9月17日(土)

③佳木斯大学康复医学院

・交流研究者: 保健医療学部作業療法学科 坂上真理 准教授

・交流期間: 9月5日(月)～9月11日(日)

④ヘルシンキ大学、オウル大学

・交流研究者: 医学部救急・集中治療医学講座 丹野克俊 講師

・交流期間: 2月27日(月)～3月17日(土)

⑤中国医科大学放射線科

・交流研究者: 医学部放射線医学講座 中田健生 助教

・交流期間: 3月3日(土)～3月16日(金)



(2) 受入

本学における教育・研究の発展を図るため、交流研究者を講師とする国際医学交流セミナー(以下「セミナー」という)を実施しています。

①フィンランド・パウロ財団

- ・交流研究者: ヘルシンキ大学 Markku Kuisma (マルック クイスマ) 准教授
- ・受入先: 医学部救急・集中治療医学講座
- ・交流期間: 11月8日(火)～12月14日(水)
- ・セミナー: 「フィンランドにおける救急医療の現状」(12月7日(水)開催)

②中国医科大学

- ・交流研究者: 中国医科大学第一附属病院放射線科 李佩玲(リ ペイリン) 副教授
- ・受入先: 医学部放射線診断学
- ・交流期間: 2月25日(土)～3月10日(土)
- ・セミナー: 「マルチスライスCTによる先天性冠動脈異常の診断」(3月7日(水)開催)



日系研修員事業

中南米日系人に対する理学療法の習得及び中南米日系人作業療法士に対する教育や臨床の機会を提供するため、本学では、平成19年からJICAの委託を受け事業を実施しており、宮川さんは3人目の研修員となります。

宮川さんは、5月17日から3月2日までの約10ヶ月間、本学ほか道内の医療機関で小児や高齢者を中心とした理学療法を学ぶ予定です。



仏語圏アフリカ 母子保健研修

本学ではJICAの委託を受け、地域別研修「仏語圏アフリカ 母子保健」コースを実施しており、今年度で5年目となります。本研修ではアフリカ地域住民の健康ニーズに対応した母子保健医療サービスの提供を目指し、研修員の所属する機関における人材育成のための教育・研修の充実を図ることを目的に、札幌近郊ばかりでなく中標津町や別海町において、母子保健関係の医療機関、大学及び行政機関等で日本の母子保健の実態と人材育成について研修を行いました。

- ・研修期間：10月3日(月)～11月4日(金)
- ・参加国：仏語圏アフリカ6か国：8名(ベナン、ブルキナファソ、コンゴ民主共和国、マリ、モーリタニア、セネガル)

また、JICAからの要請を受け、「仏語圏アフリカ 母子保健」コースフォローアップ協力(調査)を今年度はじめて実施しました。

本学保健医療学部看護学科 奥宮教授、城丸教授、杉山准教授がブルキナファソを訪問し、「仏語圏アフリカ 母子保健」研修の成果の確認と現地母子保健の現状視察が主な目的で、本学で受け入れた研修生との情報交換、ブルキナファソ保健省での母子保健の実態把握、日本の母子看護に関する講演、研修生によって開始された母親学級の見学など、精力的な視察および交流を行いました。

- ・派遣期間：2月14日(火)～2月23日(木)
- ・訪問国：ブルキナファソ(アフリカ)



報告会・懇談会

(1) 札幌医科大学国際交流活動報告会

本学では、国際医学交流事業(旧:北方医学交流事業)をはじめとする交流事業を展開しており、本学から海外の大学へ派遣した方の交流・研究成果を広く共有し、本学の教育・研究の発展に役立てるため、例年、国際交流活動報告会を開催しています。

今年度は、学長をはじめ50人以上の学生・教員に参加いただきました。

- ・日時: 1月26日(木)
- ・場所: 北第1講義室
- ・報告: 国際医学交流事業(ヘルシンキ大学) 鷲見紋子講師
アルバータ大学語学研修 派遣学生
中国医科大学臨床実習派遣事業 派遣学生
韓国カトリック大学臨床実習派遣事業 派遣学生
国際医学交流事業(カルガリー大学) 長谷 守講師
(アルバータ大学) 中島そのみ講師
(佳木斯大学) 坂上真理准教授



(2) 札幌医科大学国際交流懇談会

本学に在籍する外国人留学生や訪問研究員から、本学の教育・研究に関する意見を伺うことにより、相互理解を深めるとともに本学の国際化を推進するため、学長をはじめとする関係教員、国際交流関係者による国際交流懇談会を開催しています。

今年度は、留学生4名と訪問研究員3名をお招きし、学長、医学部長、保健医療学部長、国際交流部長、保健医療学部松山教授、医学部兵頭講師に参加いただきました。

・日時: 3月5日(月)

・場所: 札幌プリンスホテル国際館パミール



札幌医科大学と韓国カトリック大学との協定締結

本学と韓国カトリック大学医学部間で、覚書(MOU)が交わされ、韓国カトリック大学(ソウル市)において、5月11日に調印式を実施しました。現在、臨床実習を中心に積極的な交流が進められています。



発行: 平成24年5月

編集: 札幌医科大学国際交流部(事務局経営企画課 主査(国際・学術交流))

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話: 011-611-2111(内線2166)

FAX: 011-611-2237